

ANOR ニュースレターBy KOWREC(2003/6/30)要旨

(KOWREC: Korea Organic Waste Recycling Council:韓国有機性廃資源学会)

## 1. 当団体の最近の動き

### (1) 団体名の変更

当団体の呼称を、Korean Organic Resource Recycling Association(KORRA), 韓国有機資源循環協会に変更する。変更の理由は、有機性廃棄物は廃棄物ではなく、循環利用すべり資源であるとの認識に基づいている。

### (2) 食品廃棄物管理とリサイクリングと題する書籍の出版

KOWREC は最近、アメリカ、穀物協会の支援で掲題の書籍を出版した。

本書は、韓国内外で従来まで論議されて来た、広範な技術、国の政策、食品廃棄物の資源化計画をカバーしている。

## 2. 韓国における有機性資源循環利用のニュース、問題点

### (1) 韓国における生ごみリサイクルの現状

現在、韓国での一日当たり、生ごみの発生量は、11,000トンで、その内57%の6,400トンがリサイクルされている。

生ごみのリサイクル率はこの5年間で5倍にまで上がっている。(1997年21.7%、2000年45.1%、2001年56.8%)

リサイクルの用途は、約53.3%の3,399トンが飼料に、41.9%の2,572トンがコンポストに、残りの4.8%がその他であり、飼料が最大の用途になっている。

コンポストプラントの63%(一日当たり4,308トンの処理)が民間の経営で、37%が公営で、韓国のコンポストリサイクル施設は民間の経営が、公営よりも上回っている。

### (2) 下水汚泥処理の問題

今年の7月よりの埋め立て禁止の法制化、及び近い将来、海洋投棄がより厳しく規制される懸念から、下水汚泥を如何に処分するかが、最近大きな問題になっている。

汚泥の発生量が年々増加し多くの下水処理場が、毎年建設されているにも拘わらず、処理能力を遥かに超えている事が、事態を更に悪化している。

従って、更に効率の高い、コストの低い、汚泥処理システムの為の中長期的政策の再構築に迫られている。

### (3) リサイクル製品を積極的に採用する政府の施策

推奨リサイクル製品に、リサイクルコンポストが新たに加えられた。

リサイクル商品の推進と資源の効率的活用の為に、環境省は、推奨リサイクル商品のマーク付きのコンポストの様な、高品質の有機性リサイクル商品を、公的機関が購入し農家に配布させる法律を定めた。

以上